



# 玉名ロータリークラブ週報

2017  
2018



ロータリー：  
変化をもたらす

R I 会長	■	イアン H.S.ライズリー
地区ガバナー	■	永田 壯一
会長	■	吉永 博之
幹事	■	渡邊 太朗
公共イメージ向上委員会	■	西嶋 興生

例会日 ■ 毎週木曜日 / PM12:30~13:30

例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 50-1 司ロイヤルホテル内  
TEL(0968)73-8888 FAX(0968)73-8008

事務所 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 540-1-102  
TEL(0968)73-3399 FAX(0968)74-3939

平成 29 年 12 月 14 日 No.2369

玉名 R C メールアドレス [jimu@tamanarc.org](mailto:jimu@tamanarc.org)

ホームページ <http://www.tamanarc.org/>

## 【会長の時間】 鶴田前年度会長

皆さんこんにちは、今日は吉永会長が所要の為に会長代理をさせていただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。私の近況ですがいろんな方々の御指摘もありまして、筋トレをやりながら減量に取り組んでいるところです。だいたい今年の1月から比べると10kg程体重を減らすことができましたが、長年溜め込んだお腹の脂肪はなかなか減りません。今後は出来るだけ脂肪は溜めこまないようにして、貯めるのはお金だけにしたいと思います。



仕事の方では、今年の7月から熊本県社会保険労務士会の労働紛争解決センターで「あっせん委員」をすることとなりました。この労働紛争解決センターは、労使間で紛争が起こった際に裁判の前段階として「あっせん委員」のもと和解を目指す所で、駆け出しの私は、もっか「労働判例」や「和解の方法」を勉強中です。ちなみに先週末では「有期雇用契約者の同一労働・同一賃金」について弁護士さんを交えて勉強させていただきました。

この「有期雇用契約者の同一労働・同一賃金」というのは平成25年4月に労働契約法20条で施行されたもので、「正社員か有期雇用契約社員か、に関わらず業務の内容や責任の度合い、配置転換の有無などが同じであれば同一の賃金を支払わなければならない。」というもので、最近関係する裁判が少しずつ行われているようです。

今後企業の対策としては、正社員、契約社員、臨時職員等の名称に関わらず、適正に賃金が支払われているかを見直す必要があるかと思われます。そしてもし支払われる賃金に格差があればいつでも合理的にその理由を説明できるように準備しておくことが企業に求められています。

その他にも電通事件では長時間労働が問題視され企業の労務管理が問われているところではありますが、むしろ今こそ賃金体系や勤務体制を見直す好機ではないかと思えます。そうすることによって人材の定着や新たな人材の確保に繋がるのではないかと思えます。

ちなみに県内の大学生・専修学校生の新卒者が就職先を選択する際に優先する事項の「ベスト3」は皆さん御存知でしょうか？私の時代は「終身雇用」「年功序列」が一般的でしたので、「働き甲斐」や「企業の将来性」などが就職先を選択する際に優先されていたと思えます。

しかしながら、熊本労働局が今年実施したアンケートでは新卒者の方々が就職先を選択する際に優先する事項はこうなります。

①働きやすさ ②仕事の内容 ③給与等の処遇 の順番だそうです。

更にこの1番目の「働きやすさ」の要素の中の優先順位は

- ①職場の雰囲気が良いこと
- ②年次有給休暇が取りやすく、仕事と家庭生活が両立できること
- ③残業や休日勤務が少ないこと
- ④希望地や地元などで働けること
- ⑤所定の労働時間が短いこと(また、所定休日が多いこと)

だそうで昔の「企業戦士」のイメージとは正反対の様です。この様なことを踏まえると正社員にのみに負担が偏るような勤務体制は現代になじまなくなっているのかもしれませんが。そこで今後、人材確保の面からも、会社の勤務体制や賃金体系は正社員であるか、ないか、に関わらずより適正であり公平でなければならないと思えます。

これを「4つのテスト」に照らし合わせれば、会社の勤務体制や賃金体系が「みんなに公平」であれば職員間の不満なくなり、それにより「職員間の好意と友情も深まれば」職場も明るくなり「働きやすい・働き甲斐のある職場づくり」が出来、職員の意欲も高まることによって、生産性と定着率が高まり企業もますます発展し「みんなのためになる」のではないかと思えます。

最後は「4つのテスト」に行きつきましたが今の求人難の時代だからこそ「やるべき事、出来る事」があり、そのことがロータリーの金看板である「職業奉仕」にも繋がって行くのではないかと思えます。

原稿を読みながらですが「同一労働・同一賃金」についてお話しいたしました。

## 【幹事報告】 渡邊幹事

○熊本西南 RC より例会変更のお知らせが来ています。

熊本市域 RC 新春合同例会の為

日時：平成 30 年 1 月 4 日（木）⇒1 月 5 日(金)12：30～

場所：熊本ホテルキャッスル

新年家族会の為

日時：平成 30 年 1 月 18 日（木）⇒1 月 19 日(金)18：30～

場所：ANA クラウンプラザホテル熊本 ニュースカイ

○荒尾 RC より例会変更お知らせが来ています。

日時：平成 30 年 1 月 3 日（水）定款第 8 条第 1 節に基づき

平成 30 年 1 月 24 日（水）⇒1 月 21 日（日）へ振替

場所：ホテルヴェルデ 熊本第 1 グループ IM 15：00～

平成 30 年 1 月 31 日（水）

会場変更 ホテルブランカ⇒ホテル有明会館

○熊本菊南 RC より、例会変更並びに取り止めのお知らせが来ています。

日時：平成 30 年 1 月 3 日（水）⇒慣例により休会

平成 30 年 1 月 10 日（水）⇒1 月 5 日（金）12：30～

熊本市域 RC 新春合同例会

○国際 RC より、RLI パート II セミナーへのご案内(予告)のお知らせが来ています。

期日：2018 年 5 月 20 日（日） 9：00～17：00 まで

会場：大分ホルトホール

○ハイライトよねやま 213 が来ています。

○一般財団法人比国育英会バギオ基金より、2016 年度事業報告書の送付と

基金への寄付のお願いが来ています。

○八代 RC より、クラブ創立 60 周年記念式典・祝賀会のご案内が来ています。

日時：平成 30 年 2 月 24 日（土）

場所：セレクトロイヤル八代

登録開始：13：00～ 記念式典：14：30～

記念講演：16：05～ 祝賀会：17：30～

○玉名青年会議所より 2018 年度新年祝賀会のご案内が来ています。

日時：平成 30 年 1 月 12 日（金）19：00～

場所：司ロイヤルホテル 2F 鳳凰の間

## 【委員会報告】

### ◎親睦活動委員会 嫩副委員長

1 2 月 7 日にありました麻雀大会についてご報告します。優勝者は山田司郎会員です。準優勝者は鶴田会員、3 位は高木孝英会員でした。参加されたみなさんお疲れさまでした。以上です。

## 【スマイル報告】河田委員長

渡邊幹事・・・大石会員卓話、ありがとうございます。今日は、久しぶりの鶴田前会長の「会長の時間」を楽しみにしています。

鶴田前会長・・・山田司郎会員、先週の麻雀大会優勝おめでとうございます。

大石会員、卓話楽しみにしております。

松本さん・・・本日の大石会員の「終活訓」。終末期を「どう過ごし、  
 どこで死を迎え死後を誰にどのような形で託すのか」卓話に大変期待しています。

村上さん・・・大石会員卓話、ありがとうございます。身近の迫った終活を真実に考えます。

大石さん・・・本日は卓話、どうなるか心配です。よろしくをお願いします。

古賀さん・・・大石会員の卓話、ありがとうございます。申し訳ありません欠席します。

高木幸さん・・・大石会員の卓話、ありがとうございます。

田原さん・中嶋さん・本田さん・松崎さん・井上さん・坂梨さん・小山さん・・・  
 大石会員の卓話、ありがとうございます。

山田司さん・・・大石会員の卓話、ありがとうございます。先週の親睦麻雀大会優勝させていただきました。田中雄三郎会員にはお世話になりました。賞金スマイルいたします。

深見さん・堀本さん・吉岡さん・・・大石会員の卓話、ありがとうございます。

前回までの累計	¥376, 000
今 回	¥ 22, 000
合 計	¥398, 000

**【出席報告】河田委員長**

本日の出席	会員数	51 (47) 名	欠席者	嫩 浜田 廣田 古賀 宮本 村田 前島 野田 小篠 志賀 田畑 田中 瀧川 浦田 上村 上田継 吉永 山口 吉田 山村
	出席数	27 名		
	出席率	57.45%		
前回の出席	前回出席数	30 名	前回のメイクアップ	嫩 小篠
	修正出席数	32 名		
	修正出席率	68.85%		
出席規定適用免除者		8 名		

## 【卓話】大石会員

はじめて卓話をさせていただきます。ちなみに今日14日は赤穂浪士討ち入りの日です。  
私も討ち入り覚悟で話させていただきます、よろしくお願いします。

### ①家族葬とはどんなお葬式なのでしょうか？

#### 1. お葬式のかたち

##### ◇直葬(火葬式・福祉葬)

死亡後、ご遺体を自宅や斎場などに24時間保管した後、通夜・告別式などのいわゆる葬式をしないで直接火葬することなどをいいます。宗教者には立ち会っていただく場合が多いようです。

##### ◇家族葬(密葬)

家族・親族のみ、あるいは故人と親しかった方など限定した参列者で執り行う一般会葬者を呼ばない少人数で行う葬儀のことをいいます。

##### ◇一般葬

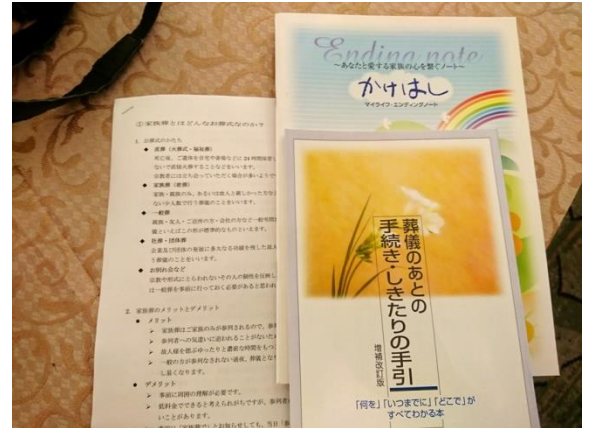
親族・友人・ご近所の方・会社の方など一般弔問客を招いて行う葬儀のことをいい、いわゆる葬儀といえばこの形が標準的なものといえます。

##### ◇社葬・団体葬

企業及び団体の発展に多大なる功績を残した故人に対し企業や関係団体が主催となって執り行う葬儀のことをいいます。

##### ◇お別れ会など

宗教や形式にとらわれないその人の個性を反映したオリジナルな自由な葬儀ですが、密葬あるいは一般葬を事前に行っておく必要があると思われます。



#### 2. 家族葬のメリットとデメリット

##### ◇メリット

- ・家族葬はご家族のみが参列されるので、参列者の人数を事前に把握しやすくなります。
- ・参列者への気遣いに追われることがないため、精神的・体力的に負担が軽くなります。
- ・故人様を偲ぶゆつたりと濃密な時間をもつことができます。
- ・一般の方が参列なされない通夜、葬儀となりますので、会葬礼品、料理などの準備、予測がし易くなります。

##### ◇デメリット

- ・事前に周囲の理解が必要です。
- ・低料金でできると考えられがちですが、参列者が少ない場合、香典等で葬儀費用が賄えないことがあります。
- ・事前に「家族葬で」とお知らせしても、当日「参列させてほしい」とお見えになる事があります。
- ・せっかくなってきた方に対してお断りするわけにもいかず、後になって返礼品や料理の手配等に追われることがあります。
- ・参列をご遠慮いただいた方が後日、自宅へ弔問にいらしてください、その方への対応や

返礼品の手配など、葬儀後もゆっくりできないということがあります。

- ・親戚や伝えていなかった方、または参列をご遠慮いただいた方から「どうして呼んでくれなかったのか」と批判されることがあるため、家族葬をご検討される際は今後の付き合いを考慮し、慎重な対応が必要です。

家族としては→→長年連れ添った故人と濃密な最後の別れをしたい……

故人独自のお付き合いは全然わからず、相手方にどう接すれば……

参列者としては→付き合いの程度は様々だけど、故人の最後を見送りたい……

家族葬だと後で自宅にお参りに行くのはちょっと……

### 3. 何(だれ)のためのお葬式なのか

「月刊フューネラルビジネス」による、30歳代から60歳代までの各年代の男女約100人ずつ合計765人に「お葬式のイメージ」について質問したところ、

- 1位 参列者が故人を弔う儀式 (全体の44%)
- 2位 故人が参列者に別れを告げ人生を締めくくる儀式 (全体の35%)
- 3位 家族が参列者に死亡を報告する儀式 (全体の10%)



葬儀とは葬送儀礼 死者を葬り(弔い)送る礼儀が葬儀の基本。

一切の形式を廃し、価格と効率だけを追求していくと、行き着く先は遺体処理になってしまう。

## ②お葬式の価格について

### 1. 葬儀料金の構成

- ・式壇(斎壇)・柩(寝棺)・収骨容器(骨壺)・遺影写真・ドライアイス・霊柩車・消耗必需品等 (最初の見積もりから変動しない料金)
  - ・会葬礼状・会葬礼品・通夜礼品・通夜料理・おとき弁当・生花スタンド・貸衣装・着付け等 (最初の見積もりから場合によって変動する料金)
  - ・役所への支払い・宗教者への布施等 (葬儀社の見積もりには含まれない、葬儀社以外に支出する料金)
- ※その他にも、湯灌(おくりびと)、メモリアルビデオの作成、など希望によって別料金が必要になることもあります。

### 2. 全国平均は……(ご参考までに)

日本消費者協会によると、葬儀全体にかかる費用全体の全国平均は195万円とされています。

(2017年葬儀についてのアンケート調査より ※九州は平均194万円)

内訳は葬儀費用・121万円 飲食接待費・30万円 寺院費用・47万円 となっています。

注:各項目の金額は平均額で、3項目目までの合計と葬儀費用の合計とは一致しません。



### 3. 平均・標準より予算見積が重要

◇チラシ・ホームページのセット料金はいくまで目安です。お葬式の形態は十人十色。一つとして同じお葬式はありません。よってチラシ等だけで判断すると思わぬ誤算が生じるかもしれません。

「何が含まれている」より「何が含まれていないか」が重要。

◇正確な金額を知りたいならば、やはり事前相談(見積もり)が有効です。より正確な金額を知る為には、お葬式の規模、参列者の人数、料理などのおおまかな数量などを検討したうえで事前相談にのぞみましょう。さらに複数の葬儀社から見積もりをもらうのもいいでしょう。また葬儀に支出できる費用を先に伝えて、その範囲内で内容を決めていく方法もあります。

